

## 競技者注意事項（少年少女記録会）

- 1 規 則 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則を準用して実施する。ただし、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技・運営をする。
- 2 練 習 練習は練習場または指定された場所を利用すること。
- 3 プロ訂正 プログラムのナンバーカードや氏名等に記載誤りがあった場合は、午前8時45分までに受付に申し出ること。
- 4 招 集 (1)招集所は、100mのスタート地点後方に設ける。朝の受付とは別。時間等はプログラムを販売するので、すみやかに確認すること。  
(2)出場者は自分の出場する種目ごとに、招集所で自分の名前にチェックをすること。  
(3)招集時間は、トラック種目は競技開始40分前から20分前まで。フィールド種目は競技開始60分前から30分前まで。時間に遅れないようにすること。その後は、競技者係審判員の指示に従って待機すること。
- 5 入 退 場 競技役員の指示に従って入退場すること。
- 6 ナンバーカード (1)ナンバーカードは受付時に配布する。また、競技終了後、必ず返却すること。  
(2)安全ピンは個人またはチームで用意すること。  
(3)ナンバーカードは胸と背に配布時の状態で、1枚ずつ確実につけること。  
(4)トラック種目では、腰用ナンバーカードを腰部分の体側右後方につけること。
- 7 リレー競技 リレー競技に出場するチームは「リレーオーダー用紙」1部を、招集完了60分前までに招集所に提出すること。チーム責任者は忘れずに。なお、用紙は招集所にある。
- 8 競技方法 (1)計 時 トラック種目は写真判定で行う。但し、3年生の80mはバックストレッチで、手動計時でおこなうこともある。  
(2)リレー 次走者のバトン受け渡しは、30mのリレーゾーンの中で行う。次走者はゾーンの中でスタートしなければならない。  
(3)スタート ①800mは、スタンディングスタートとする。それ以外のトラック種目は、クラウチングスタートまたは、スタンディングスタートとする。また、スターティングブロックの使用、不使用はその場で選手が、役員に伝える。  
②不正出発に関するルールは、旧ルールで行い、同一競技者が2回不正出発を行った場合は失格とする。ただし、退場ではなく、オープン出場とする。(そのまま競技は続けるが、順位はなし、次ラウンドへの出場権もなし、記録のみ測定する扱いとする。)  
(4)スパイクの使用を認める。(トラック7mm以下、フィールド9mm以下)。なお、素足での出場は認めない。  
(5)走幅跳・ジャベリックボール投  
①試技は3回とする。(記録会ではトップ8の試技を行わない)  
②3連続試技ではなく3ラウンド試技で行う。ただし混成競技のジャベリックボール投げは3連続試技で行う場合もある。  
③有効試技ならば1回は必ず測定する。(「記録なし」を防ぐ教育的配慮)  
④ジャベリックボール投は、ジャベボールを使用し、やり投げ用ピット(約29°)を使用し、助走は15m以内で実施する。  
(6)80mH 小学生の場合は小学生用ハードルを使用し、下記の規定で行う。

スタートから第1ハードル	ハードルの高さ	ハードル間の距離		台数	最終ハードルからフィニッシュ
13m	70cm	7m00cm		9台	11m00cm
0m ~13m	~20m	~27m	~34m	~41m	~48m
		~55m	~62m	~69m	~80m

- (7)走高跳 ①跳躍方法は「はさみ跳び」で行う。着地は必ず足裏から着地すること。足裏から着地できない場合は不正試技とする。  
②バーの上げ方は、次のとおりとする。(男女とも同じ)  
《走高跳びのバーの上げ方》  
練習は1m00で行う。  
試技は1m00から行い、以降5cm刻みで上げていく。1m35まで5cm刻みで上げ、それ以後は3cm刻みで上げる。
- 9 記 録 証 記録証は、競技出場者全員に授与する。記録証はチーム責任者が浄書すること。
- 10 等 級 章 小学生で神奈川陸協の「神奈川小学生陸上運動等級記録」に達した場合は、当日中に申請

し確認した者には、等級別ワッペンを交付する。(詳細についてはプログラムを参照)

- 11 賞 状 記録会なので賞状はなし。
- 12 試技およびレーン順は、主催者が公平に決める。(大会プログラム参照)
- 13 競技順序、競技日程及び競技の結果は県陸協ホームページを参照のこと。(結果については大会終了後2～3週間で掲載する)
- 14 ゴミは各自で持ち帰る。また、貴重品等は各自の責任で管理すること。